

(参考2) 令和7年の有毒植物における食中毒事件の例

【事例1】

発 生 年 月 日	令和7年4月9日
発 生 場 所	神奈川県 家庭
原 因 植 物	トリカブト
概 要	患者が自身で採取した野草を調理して喫食したところ、食中毒症状を呈した。
患 者	1名（女性1名）
主 な 症 状	しびれ、麻痺等

【事例2】

発 生 年 月 日	令和7年4月30日
発 生 場 所	東京都 飲食店
原 因 植 物	バイケイソウ
概 要	客が飲食店に持ちこんだ山菜を、営業者が調理し患者に提供したところ、食中毒症状を呈した。
患 者	1名
主 な 症 状	吐き気、嘔吐等

【事例3】

発 生 年 月 日	令和7年5月12日
発 生 場 所	富山県 家庭
原 因 植 物	スイセン
概 要	親戚から「ニラ」としてもらった植物を家庭で調理して喫食したところ、食中毒症状を呈した。また、譲渡元の親戚も同様の症状を呈していた。患者が喫食した植物を確認したところ、有毒植物の「スイセン」であり、有毒成分ガラントミンが検出された。
患 者	5名（男性1名、女性4名）
主 な 症 状	下痢、嘔吐等

**【事例4】**

発生年月日	令和7年6月28日
発生場所	岡山県 家庭
原因植物	イヌサフランの球根
概要	患者自宅庭プランターに園芸用に植えていたイヌサフランの球根を玉ねぎと誤認し、調理して喫食したところ、食中毒症状を呈して死亡。
患者	80代1名
主な症状	嘔吐、下痢、脱力感、発熱、意識混濁